宇久中だより2017

佐世保市立宇久中学校　学校通信
（平成２９年９月３号）
文責　校長　田雜　健
平成 29 年 9 月 15 日(金)発行

学校教育目標　：　ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒
めざす生徒像　：　素直で心豊かな生徒　・　自ら考え、主体的に学ぶ生徒　・　強くたくましい生徒
宇久中生徒の5励行　：　心のこもったあいさつをする　授業に集中する　生徒会活動や部活動に励む
大きな声で校歌を歌う　清掃活動に力を入れる

本番を終えて

夏休み中から練習に励んだ体育大会も１０日（日）、晴天に恵まれ、多くのご来賓、地域の方々、保護者の皆様の参観を得て予定通り実施することができました。暑い中、高校生の先輩方とともに練習に汗をながした成果が存分に発揮されていたと思います。大会終了後に多くの方から「すばらしい大会でした」とお褒めの言葉をいただくことができました。

さて、前号で「こういった行事の際にはなかなか計画通りに事が進まず、つい仲間内でもめてしまったり、自分の力のなさを感じて落ち込んでしまったりすることがある」と書きました。大会を終えたこの時期も例外ではありません。日頃の教室での授業と違い、こういった行事の際には自分自身のこともそうですが、級友や先輩・後輩のいろいろな面が見えてくるものです。あなたに「見えた」ということは、他の人にも「見えた」のです。できれば「見えた」ことのプラス面をとらえてほしい。すばらしい１日を過ごすことができた余韻は、やはり互いに認めあい、高めあうことで感じてほしいと願っています。





大会後、魂がぬけてしまったような人はいませんよね・・・

さあ、ここから

体育大会も終わりました。「気持ちの切り替え」とよく言われますが、これは誰かがやってくれるものではありません。一人一人が自分で新たな目標を設定し、その達成に向けて力を尽くしていくことでのみできることです。次の行事で存分に力を発揮することでもいいし、実力テストの結果をもとに学力向上を目指すことも大切です。

特に３年生にとっては、中学校生活のラスト６ヶ月が見えてきたところ。自分の進路について、しっかりと考え、それにふさわしい実力を身に付けること。実りの秋になるよう頑張りましょう。



体調管理も忘れずに

暑さもだいぶ和らいできました。朝夕ずいぶんと涼しくなったのはうれしいのですが、油断すると風邪をひいてしまいがちな体調管理が難しい時期でもあります。

「秋に伸びる」ためにも、体調管理を万全に行い、健康第一で毎日を過ごしたいものです。

基本は何と言っても「早寝、早起き、朝ごはん」、夏バテならぬ秋バテをおこさぬように各自で注意していきましょう。

第 12 回中高合同体育大会を終えて

「これ以上はない」というくらいの秋晴れのもと、平成２９年度第１２回中高合同体育大会を予定通り開催することができました。

当日は早いうちから、ご来賓、地域の方々、そして保護者の皆様に多数お出でいただき、熱心にご参観、ご声援をいただき、まことにありがとうございました。別の行事があったにも関わらず、午前中だけでもと忙しい時間をぬってご参観いただいた方々も多くいらっしゃったようで、お心遣いに厚くお礼を申しあげます。

中高生徒４６名、夏の暑い盛りから共に汗を流し、練り上げてきた演技、赤団・青団に分かれての競技と少ない人数ながら精一杯力を尽くしておりました。

途中、演目によっては急遽参加いただき「予期せぬ汗」を流していただいた方もいらっしゃいました。ご協力ありがとうございました。

また、綱引きでは「赤勝て、青勝て」で会場が大いに盛り上がりました。事前の参加者募集等お世話いただいた方々、そして体中の筋肉をフルに生かして勝利に向かって綱を引いていただいた皆様ありがとうございました。

閉会式で大会テーマ「つなぎ・いどむ」に関わって、「伝統をつなぎ、未来にいどむ」と私なりの解釈で生徒に話をしました。大会当日だけでなく、練習に明け暮れた日々を含めて、先輩方が築いてこられて伝統をこの子たちなりに努力して後進に「つなぎ」、そしてそれを一つの自信として各自の未来に向かって「いどむ」、そうあってほしいと願っての話でした。

まとまりはつきませんが、第 12 回中高合同体育大会に対する皆様のお力添えに改めて深くお礼を申し上げ、今後の中学・高校の教育活動へのご理解・ご支援をお願いして、体育大会を終えてのごあいさつとさせていただきます。









